

製品安全データ シート

会社: 様式会社エス・ディー・エスバイオテック

郵便番号: 105

住所: 東京都港区東新橋2丁目12番7号

担当部門: 農薬対策室

担当者: 後藤孝男、榊原真人

電話番号: (03)3436-7446

FAX: (03)3436-0989

緊急連絡先: (03)3436-7446(担当 後藤)

MSDS No.1508-05

作成: 平成8年7月23日

製品名	バックアップ粒剤
物質の特定	単一製品・混合物の区別: 混合物 成分及び含有量: ガルブチレート: 4.0% 鉍物質微粉等: 96.0% 化学名: 3-(3,3-ジメチルウレイド)フェニル=ターシャリーブチルカルバマート 分子式: $C_{14}H_{21}N_3O_3$ (分子量279,3) 農薬登録番号: 19296 CAS No.: 4849-32-5 化審法番号: (3)-2201 安衛法番号: ー 国連分類: 国連の基準で評価して、危険物に該当しない。 WHOの分類で Unlikely to present any hazard in normal use の化合物
危険・有毒性の分類	分類の名称: 分類基準に該当しない。 有害性: 眼に微弱な刺激性がある。 皮膚に軽度の刺激性がある。
救急措置	皮膚に付いた場合: 直ちに水で洗い流した後、石鹼でよく洗い落とす。 眼に入った場合: 直ちに流水で十分に洗眼し、眼科医の手当を受ける。 吸入した場合: 速やかに新鮮な空気のあるところへ行き、深呼吸をすると共に、多量の水、湯水又はうがい薬を用いてうがいし、医師の手当を受ける。 飲み込んだ場合: できるだけ早く、患者の喉に指を入れるか、ぬるめの食塩水を飲ませて吐き出させ、医師の手当を受ける。(ただし、意識障害や痙攣のあるときは吐かせないこと。)

火災時の措置	消火方法：燃焼ガスには、一酸化炭素や窒素酸化物などが含まれる ので、消火作業の際には保護具を着用する。 通常は、消火剤で消火する。濃厚な廃液が河川などに流入しないように充分注意する。 消火剤 ：粉末・炭酸カス・泡など
漏出時の措置	粉末等が床面などにこぼれた場合は、直ちに拭き取り、空容器に収納する。漏出時の作業には適切な保護具を着用する。
取扱い及び 管理上の注意	取り扱い：吸い込んだり、目や皮膚に触れないように、長袖の作業衣、保護手袋、保護マスク、保護眼鏡を着用して、できるだけ風上から作業する。 保管 ：適当な換気のある乾燥した冷暗所に密封して保管する。 注)詳細は製品のラベルに従うこと。
曝露防止措置	許容濃度：日本産業衛生学会で未設定` 設備対策：換気を適正に行う。 保護具 ： 呼吸器用保護具；防塵マスク又は簡易防塵マスク。 保護眼鏡 ；側板付き普通眼鏡型又はゴーグル型保護眼鏡 保護手袋 ；ゴム手袋 保護衣 ；定められた作業衣・安全靴
物理・化学的 性質	外観等 ：類白色細粒。 見掛け比重：0.95
危険性情報	発火性 ：なし 安定性 ：熱・酸・アルカリ・光に安定 爆発性 ：なし 粉塵爆発性：なし
有害性情報	刺激性 ： 眠 ；微弱な刺激性あり 皮膚；軽度の刺激性あり 感作性 ：陰性 急性毒性：LD₅₀；>5000mg/kg(ラット雌雄・経口) LD₅₀；>5000mg/kg(マウス雌雄・経口) LD₅₀；>2000mg/kg(ラット雌雄・経皮)
環境影響情報	コイ ：TLm48 > 2500 ppm ミジンコ：TLm3 > 462,5ppm

MSDS No.1508-05

輸 送上の注意	容器が破損しないように、水ぬれや乱暴な取扱いは避ける。
廃棄上の注意	廃棄は焼却処分とする。ただし、燃焼時に一酸化炭素・窒素酸化物等が発生するので、注意しながら少量ずつ焼却する。
適 用法令	農薬取締法
その他	参考文献:MSDS No.1508 危険・有害性の情報・評価は必ずしも充分でないので、取扱いには充分注意してください。